

なくならない核の脅威

広島と長崎の上空に

人類史上初めて**原子爆弾**が投下されてから 79 年。

無差別に罪もない

多くの一般市民の**命**と生活を奪い、

生涯にわたって心身を痛め続ける

核兵器の危険性や脅威は、

世界中で認識されているにもかかわらず、

現在もおおよそ **12,500 発**あまりの

核弾頭が地球上に存在します。

核兵器保有国は、**核兵器不拡散条約（NPT）** 上で核兵器の保有を認められているアメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国を含めた 9 か国です。

核弾頭の総数は冷戦後一貫して**減少**傾向にあります。しかし、実質的な**核軍拡**は進んでいます。

注目すべきは、「**現役核弾頭**」の数の増加です。また、軍用任務から退役し、解体を前提に保管されている核弾頭については、**再利用**を完全に否定することはできません。

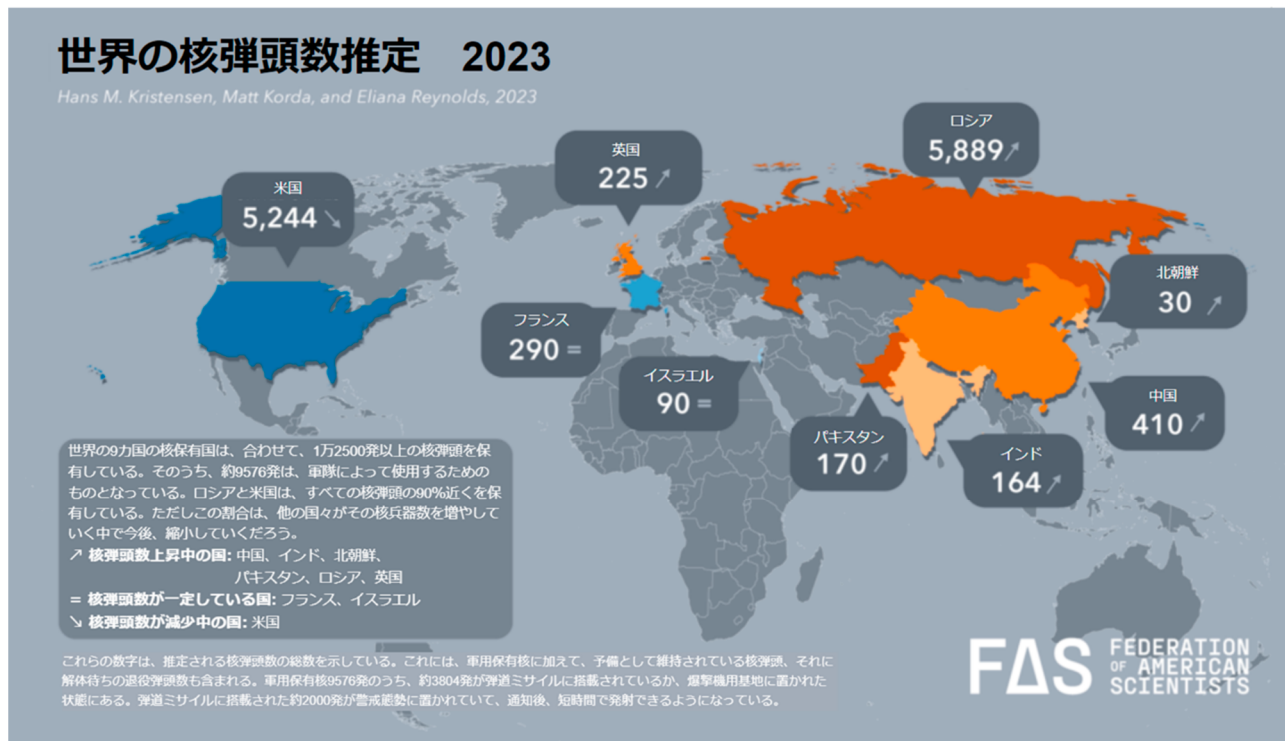


高まる世界の緊張

1994 年ウクライナ・ベラルーシ・カザフスタンが**核不拡散条約（NPT）** に加盟したことに関連して、協定署名国（アメリカ・イギリス・ロシア）がこの 3 ケ国の安全を保障する「**ブダペスト覚書**」に調印しました。この覚書を破ってのロシアの**軍事侵攻**を受け、「安全を保障したロシアにウクライナは**侵略**された。**核を手放すべきではなかった**」「ウクライナが現在も核兵器を保持していれば、**ロシアが侵攻**することはなかった」という世論がウクライナ国内に生まれているほか、ブダペスト覚書や NPT の効力に対するの疑念も、ささやかれています。

2024 年 5 月 16 日、米エネルギー省の国家核安全保障局（NNSA）は、ネバダ州の核実験場で核爆発を伴わない**未臨界核実験**を行い、成功したと発表しました。2021 年 9 月以来の未臨界核実験の実施です。

地球平和監視時計が示す最後の核実験からの日数が「**976 日**」から**リセット**されました。



核のない世界をめざして

ウクライナでの戦争は**非人道的**大惨事であり、ロシアによる核兵器使用の**脅威**は、**核兵器**が存在する限りそれは使用可能であること、これは、人類の生存に最大の危機をもたらすものだとすることを国際社会に痛感させました。

2017年7月に121カ国によって採択された**核兵器禁止条約（TPNW）**は、2024年1月の時点で**93**の国・地域が**署名**し、**70**の国・地域が**批准**しています。

核使用の**脅威**が高まっている今こそ「**核兵器は必ず市民を傷つける。その存在意義はない**」との認識のもと、人類が核兵器によって人質にされている世界に代わる世界、核兵器のない国際安全保障への扉を開かなくてはなりません。



私たちの取り組み

「**核のない世界**」を目指し取り組みを進めている**平和首長会議**は、日本政府に対し**核兵器禁止条約**への早期**署名・批准**を求めるとともに、少なくとも同会議にオブザーバーとして参加することを強く要請しています。

私たち連合は、「**核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現**」をめざし、被爆地広島・長崎で毎年8月に実施している**平和行動**をはじめ、これまで原水禁、KAKKINとともに「**核兵器廃絶1000万署名**」などの具体的な行動に取り組んできました。今後もあらゆる機会をとらえ、核兵器の**廃絶**に向けた国際社会の協調した行動を求め、関係団体と連携し、幅広い**世論喚起**に取り組んでいきます。

高校生平和大使、高校生一万人署名活動のメンバーとともに、**核兵器廃絶を求める署名**を集めています。高校生平和大使は、国連で「**ヒロシマ・ナガサキ・ピース・メッセンジャー**」として認知され、関係団体と連携し、幅広い世論喚起に取り組んでいます。

連合神奈川ピースウィーク 2024

私たち連合神奈川は

8月6日（広島への原爆投下の日）と、
8月9日（長崎への原爆投下の日）を
軸としたゾーンを「**ピースウィーク**」として、
県内すべての首長が加盟している
「**平和首長会議（国連登録NGO）**」が提唱する

**持続可能な世界に向けた
平和的な変革のためのビジョン**
—都市による軍縮と人類共通の
安全保障に向けた平和構築—

を支持し 県内各地で街頭行動を行っています。

連合神奈川ピースウィーク 2024

横浜地域連合

川崎地域連合

三浦半島地域連合

湘南地域連合

県中央地域連合

西湘地域連合

相模原地域連合

厚木愛甲地域連合

小田原・足柄地域連合



連合神奈川ピースウィーク 2024
詳しい内容はこちら➡